

第2次光市環境基本計画  
リーディングプロジェクト（後期分）

平成30年3月  
光市

## 第5章 リーディングプロジェクト

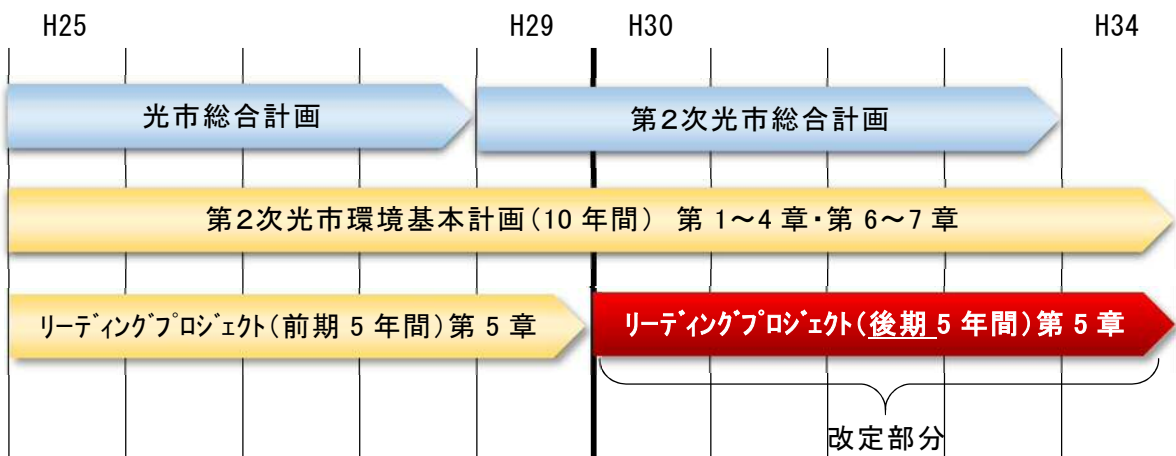
1	改定の趣旨	1
2	後期リーディングプロジェクト	1
	みんなで輝く LEDで光るまちプロジェクト	3
	みんなで創る エコまち推進プロジェクト	5
	みんなで守る 水と緑 自然共生プロジェクト	8
	みんなで進める MOTTAI NAIプロジェクト	11
	みんなでつなぐ 環境「まなび」プロジェクト	14
◆	資料編	16

## 第5章 リーディングプロジェクト

### 1 改定の趣旨

第2次光市環境基本計画は、平成25年度から平成34年度の10年間の計画期間として策定しました。このうち、行動計画部分である第5章に示したリーディングプロジェクトについては、5年を目途に見直すこととしていたことから、前期5年間における取組状況や第2次光市総合計画、社会情勢の変化等を踏まえ、今、取り組むべき課題の解決や重点的に取り組もうとする施策、事業の実施に向けた見直しを行います。

なお、中間見直しとなることから、目指すべき環境像や基本方針等の基本的な方向性は変わりません。



### 2 後期リーディングプロジェクト

市民・事業者・市が一体となって、その名のごとく光輝く魅力あるまちとなることを目指し、後期5年間で重点的かつ優先的に取り組むべき5つのリーディングプロジェクトを定めます。



また、施策や事業の推進にあたっては、「光」の名を有するまちとして、常に『プラス1の視点』を念頭に取り組みます。

プラス1の視点



- ★「光」という輝かしい名を強みとして、エコや自然の要素を取り入れた環境の観点からの“光”の活用に取り組み、知名度の向上や魅力の発信に努めます。
- ★日々進化する環境技術を注視し、“光”の有効性や可能性等を探求していきます。

●後期5年間における計画のイメージ



## みんなで輝く LEDで光るまちプロジェクト

### ●取組みの方向

長寿命で省エネ性能に優れたLEDの特性を活かして、エコで快適なLEDで光るまちの実現を目指します。

また、「光」の名を有するまちとして、環境にやさしく明るいまちの象徴となるLEDの活用に積極的に取り組みます。

### ●数値目標

環境指標	近況値	目標値 (H34)	単位
①LED照明を導入している公共施設数	3	10	件
②街路灯のLED化率	0.5	3.0	%
③家庭でLED照明を導入している人の割合	59.1	85.0	%

※近況値出典【年度】：①環境政策課【29】（施設の延床面積に対して50%以上LED化している建物の数）  
②生活安全課【28】  
③環境市民アンケート【29】

### ●実現に向けた各主体の主な取組み

#### 【市民】

- LED照明の導入に努めます。
- LED照明の照度調節機能を活用して省エネに努めます。

#### 【事業者】

- LED照明の導入に努めます。
- LED照明の照度調節機能を活用して省エネに努めます。
- LED照明と人感センサーや明るさセンサーなどを併用して、省エネ効果の向上に努めます。

【市】

- ・ 公共施設における LED 照明の積極的な導入に努めます。
- ・ LED 照明の普及促進に努めます。
- ・ 市民の LED 照明の導入を支援します。
- ・ 事業所等の LED 照明の導入支援について情報提供に努めます。
- ・ LED を活用した事業の実施により「光」の名の発信に努めます。

● 具体的な施策・事業の展開例

施策・事業の展開例	スケジュール					所管課
	H30	H31	H32	H33	H34	
公共施設における LED 照明導入の推進	→					環境政策課 総務課 関係各課
LED 照明の導入促進	→					環境政策課
街路灯・防犯灯の LED 化の推進	検討 →	→				生活安全課 関係各課
LED の活用による「光」の名の発信の推進	→					関係各課



LED 照明普及啓発イベント



防犯灯の LED 化

## みんなで創る エコまち推進プロジェクト

### ●取組みの方向

地球温暖化問題が深刻化する中、その主な原因である二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出抑制に向け、市域全体での省エネルギー運動の展開、省エネルギー製品の導入など、市民、事業者、市が一丸となって、地球にやさしいまちの創造に取り組みます。

また、太陽光をはじめとする自然エネルギーの利活用に取り組みます。

### ●数値目標

環境指標	近況値	目標値 (H34)	単位
①市域全体からの温室効果ガス排出量（全部門）	2,038	1,862	千t- $\text{CO}_2$
②市域全体からの温室効果ガス排出量（民生部門★1）	209	181	千t- $\text{CO}_2$
③市の施設からの温室効果ガス排出量	13,135	12,279	t- $\text{CO}_2$
④公共施設における太陽光発電システム設置件数	12	14	件
⑤路線バス年間利用者数	598,194	707,000	人
⑥省エネルギーに心がけている人の割合	83.8	95.0	%
⑦省エネルギーの推進など温暖化対策の状況に関する満足度	56.8	70.0	%
⑧自動車を控えて徒歩、公共交通機関や自転車を利用している人の割合	37.4	45.0	%

※近況値出典【年度】：①②環境省推計値【26】

③光市エコオフィスプラン（第3期）【28】

④環境政策課【28】

⑤商工観光課【28】

⑥まちづくり市民アンケート【29】

⑦⑧環境市民アンケート【29】

★1：家庭及び業務部門

●実現に向けた各主体の主な取組み

【市民】

- ・省エネルギー機器の導入に努めます。
- ・日頃から省エネルギーを意識するライフスタイルの定着に努めます。
- ・次世代自動車やエコマーク製品等、環境に配慮した製品の購入に努めます。
- ・公共交通機関や自転車等の積極的な利用に努めます。
- ・物流に伴うエネルギー低減のため、地産地消に努めます。
- ・太陽光などの自然エネルギーを利用した設備の導入に努めます。

【事業者】

- ・省エネルギー機器の導入に努めます。
- ・次世代自動車やエコマーク製品等、環境に配慮した製品の購入に努めます。
- ・クールビズやウォームビズの徹底に努めます。
- ・ノーマイカー通勤の推奨、エアコンや照明の調節など、事業所を挙げた省エネルギーの取組みに努めます。
- ・太陽光などの自然エネルギーを利用した設備の導入に努めます。

【市】

- ・「エコオフィスプラン」の着実な推進に努めます。
- ・市民の省エネルギー機器導入を支援します。
- ・次世代自動車やエコマーク製品等、環境に配慮した製品の購入に努めます。
- ・ノーマイカー通勤やクールビズなど、省エネルギー活動に率先して取り組みます。
- ・公共交通機関の利用促進に努めます。
- ・地球温暖化問題や省エネルギーの必要性等について周知、啓発を図ります。
- ・太陽光などの自然エネルギーを利用した設備の導入に努めます。

●具体的な施策・事業の展開例

施策・事業の展開例	スケジュール					所管課
	H30	H31	H32	H33	H34	
省エネルギー製品の導入促進						環境政策課
次世代自動車の導入及び普及促進						総務課 環境政策課 関係各課



施策・事業の展開例	スケジュール					所管課
	H30	H31	H32	H33	H34	
公共交通機関の利用促進	→					商工観光課 環境政策課 関係各課
市域全体での省エネルギー運動の促進	→					環境政策課
地球温暖化防止に関する情報発信及び啓発活動の充実	→					環境政策課
燃料電池自動車の導入	検討				→	環境政策課
太陽光等の自然エネルギーの導入及び利用促進	→					環境政策課
市の率先行動計画（エコオフィスパラン）の推進			→	→		環境政策課 関係各課
地球温暖化対策地域協議会の活動支援	→					環境政策課



エコフェスタの開催

次世代自動車の導入

# みんなで守る 水と緑 自然共生プロジェクト

## ● 取組みの方向

「自然敬愛都市宣言」のまちとして、本市が誇る白砂青松の室積・虹ヶ浜海岸、母なる島田川、緑豊かな石城山など、これまで先人より連綿と受け継がれてきた水や緑の豊かな資源を守り、次代へ受け継いでいく機運の醸成を図ります。

また、水や緑が私たちの生活にもたらす恩恵に感謝するとともに、人と自然が共生する快適環境づくりを進めるため、市民、事業者、市の連携と協働による環境の保全・再生・創造活動に取り組めます。



## ● 数値目標

環境指標	近況値	目標値 (H34)	単位
①クリーン光大作戦の参加者数	15,869	17,000	人
②アダプト・プログラムの参加団体数	16	20	団体
③室積・虹ヶ浜海岸における松の本数	42,347	42,000以上	本
④「自然敬愛都市宣言」のまちの認知度	11.7	35.0	%
⑤山や森林など自然の緑の美しさに関する満足度	82.0	90.0	%
⑥川の水のきれいさに関する満足度	79.8	85.0	%
⑦地域・自治会等での環境美化活動に参加している人の割合	76.1	85.0	%
⑧鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさに関する満足度	80.9	85.0	%
⑨生活環境の快適さ（騒音や悪臭がないこと）に関する満足度	71.6	80.0	%

※近況値出典【年度】：①文化・社会教育課【29】  
 ②地域づくり推進課【28】  
 ③水産林業課【28】  
 ④～⑨環境市民アンケート【29】

## ●実現に向けた各主体の主な取組み

## 【市民】

- ・美しく豊かな自然を大切にし、その恵みに感謝します。
- ・クリーン光大作戦への参加など、環境保全・美化活動に積極的に取り組みます。
- ・自然の摂理を尊重し、生態系に配慮した環境保全に努めます。
- ・自然を敬愛し、自然とのふれあいを心がけます。
- ・野焼きや犬のふんの不始末など、人の迷惑となるような行為は慎みます。

## 【事業者】

- ・美しく豊かな自然を大切にし、その恵みに感謝します。
- ・自然の摂理を尊重し、生態系に配慮した保全に努めます。
- ・地域の環境保全・美化活動に積極的に参加します。
- ・公害や事故等の発生防止に努め、自然環境や市民生活に悪影響を及ぼすことのないよう、危機管理体制の向上を図ります。

## 【市】

- ・「自然敬愛都市宣言」のまちであることの周知に努めるとともに、全国に向けて情報発信します。
- ・市民の主体的な環境保全・美化活動を支援します。
- ・“光”と陰、風と緑が織りなす公園等の心地よい空間を創出するとともに、適切な維持管理を行います。
- ・自然のもつ水源の涵養や生物多様性の保全、災害の防止等、公益的機能の維持増進に努めます。
- ・自然敬愛の精神を醸成するため、自然とふれあう機会を創出します。
- ・公共事業を行うにあたっては、環境への配慮に努めます。

## ●具体的な施策・事業の展開例

施策・事業の展開例	スケジュール					所管課
	H30	H31	H32	H33	H34	
「自然敬愛都市宣言」のまちの周知						環境政策課
クリーン光大作戦の推進						文化・社会教育課

施策・事業の展開例	スケジュール					所管課
	H30	H31	H32	H33	H34	
アダプト・プログラムの推進	→					地域づくり推進課
自然環境や景観と調和した光漁港海岸（室積海岸）の保全対策の推進	→					水産林業課
海岸松林の保全	→					水産林業課
市民参加による緑化活動の推進	→					都市政策課 関係各課
どんぐりの森の整備	→					水産林業課
市民の森自然観察林の整備	→					水産林業課
自然環境を活かした防災機能の向上	→					水産林業課
公園・緑地の適正な配置・保全	→					都市政策課
自然に配慮した河川整備	→					道路河川課
公共下水道や浄化槽の整備	→					下水道課
安全でおいしい水の安定的供給	→					水道局
鳥獣被害防止対策の推進	→					水産林業課
公害防止対策の推進	→					環境政策課
公共事業における環境配慮の推進	→					入札監理課
文化・歴史的資源の保存・活用	→					文化・社会教育課
自然環境を活かしたスポーツ活動の推進	→					体育課



## みんなで進める MOTTAINAIプロジェクト

### ●取組みの方向

自然破壊や地球温暖化等の環境問題を引き起こしてきた大量生産・大量消費・大量廃棄型社会からの転換を図り、持続可能な循環型社会を構築するため、日本古来の「もったいない」という文化を継承し、廃棄物の発生抑制や再資源化の推進に取り組みます。

### ●数値目標

環境指標	近況値	目標値 (H34)	単位
①1人1日あたりのごみの排出量	926	910 以下	g
②リサイクル率	27.8	31.5 以上	%
③ごみの最終処分量	1,187	1,187 以下	t
④資源回収・リサイクルの状況に関する満足度	75.2	85.0	%
⑤生ごみの堆肥化や減量を行っている人の割合	42.2	60.0	%
⑥使い捨て製品の購入を控えている人の割合	69.0	85.0	%
⑦古新聞やアルミ缶等の資源回収に参加している人の割合	82.6	90.0	%

※近況値出典【年度】：①～③環境事業課【28】

④～⑦環境市民アンケート【29】

### ●実現に向けた各主体の主な取組み

#### 【市民】

- ・分別方法や収集日など、ごみ出しルールを守ります。
- ・命の源となる食材に感謝し、食物残渣の減少や食べきりに努めます。
- ・適量の調理、生ごみの排出抑制、水切りの徹底、堆肥化に努めます。
- ・バザーやフリーマーケット、資源回収などを積極的に活用し、再利用、再資源化に努めます。
- ・使い捨て製品の購入を控えるとともに、不要なものは買いません。
- ・買い物にはマイバッグを持参し、過剰包装やレジ袋を断ります。

【事業者】

- ・ 廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化、適正処理に努めます。
- ・ 備品などの適正な管理を行うとともに、環境に配慮した製品を選びます。
- ・ 商品販売の際は、過剰包装を控えるとともに、マイバッグの持参を呼びかけます。
- ・ 廃棄時の環境負荷に配慮した製品の開発や商品の販売に努めます。

【市】

- ・ ごみ分別アプリの普及啓発や、市広報紙、ホームページ等を活用し、ごみに関する各種情報の周知徹底に努めます。
- ・ 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に努めます。
- ・ 公共施設における、ごみの発生抑制の強化を図ります。
- ・ 事務用品等購入する際は、環境に配慮した製品を選びます。
- ・ 不用品交換システム（リユースネットひかり、リユースキッズひかり）の充実や情報発信の強化を図ります。
- ・ 祝日収集や粗大ごみの戸別収集など、市民ニーズに配慮した取組みを行います。
- ・ ごみの発生抑制や再生利用の促進等を目的とした、ごみ処理の有料化を検討します。

● 具体的な施策・事業の展開例

施策・事業の展開例	スケジュール					所管課
	H30	H31	H32	H33	H34	
「もったいない」文化の醸成	→					環境事業課
不用品交換システムの充実	→					環境事業課
市民や事業者へのごみ問題に関する啓発活動の推進	→					環境事業課
雑がみ再資源化の推進	→					環境事業課
生ごみリサイクルの推進	→					環境事業課

施策・事業の展開例	スケジュール					所管課
	H30	H31	H32	H33	H34	
ごみ処理の有料化制度の実施	検討					環境事業課
市民ニーズに対応した収集サービスの実施						環境事業課
エコパークを拠点とした再資源化の推進						環境事業課
環境保全型農業の推進						農業耕地課



リユースキッズひかり



リサイクルセンター「エコパーク」

## みんなでつなぐ 環境「まなび」プロジェクト

### ● 取組みの方向

次代を担う子どもたちの環境保全意識を醸成し、主体的な活動を促進するため、これまでに私たちが引き起こしてきた地球温暖化問題や生物多様性の危機、ごみ問題など、地球規模から身近な課題までを、学び、考え、行動につなげる環境教育に取り組みます。

また、幅広い世代の人が学べる講座や体験学習会等を開催し、環境への配慮に対する意識の向上を図るとともに、今後の環境教育を担う人材の育成につなげます。

### ● 数値目標

環境指標	近況値	目標値 (H34)	単位
①環境学習・自然体験学習等の開催数	60	65	回
②環境学習・自然体験学習等の参加者数	4,448	5,000	人
③自然とのふれあいの機会の多さに対する満足度	76.1	85.0	%
④環境に関する講演会やシンポジウムに参加する人の割合	18.9	25.0	%

※近況値出典【年度】：①②環境政策課【28】  
③④環境市民アンケート【29】

### ● 実現に向けた各主体の主な取組み

#### 【市民】

- ・子どもたちの環境教育や体験学習等に積極的に参加、支援、協力します。
- ・学校における環境教育や体験学習等に積極的に参加、支援、協力します。
- ・環境に関する講座や講演会等に積極的に参加します。



## 【事業者】

- ・子どもたちの環境教育や体験学習等を積極的に支援、協力します。
- ・学校における環境教育や体験学習等を積極的に支援、協力します。
- ・環境に関する講座や講演会等に積極的に参加します。
- ・従業員の環境教育に取り組み、環境にやさしい事業所を目指します。

## 【市】

- ・子どもたちの環境教育や体験学習会を実施します。
- ・学校における環境教育や体験学習等を実施します。
- ・地域での環境教育活動を支援します。
- ・環境関連講座や講演会等の実施により、多世代にわたる環境学習の場を創出し、環境教育を担う人材の育成につなげます。

## ●具体的な施策・事業の展開例

施策・事業の展開例	スケジュール					所管課
	H30	H31	H32	H33	H34	
「(仮称) ひかりエコくらぶ」の創設及び活動の推進						環境政策課
環境関連講座、講演会等の実施						環境政策課 環境事業課 関係各課
自然体験機会の創出						環境政策課 水産林業課 関係各課
ごみの行方&エネルギーの始まり見学ツアーの実施						環境事業課 環境政策課
小・中学校との連携体制の構築	検討					環境政策課 学校教育課
環境教育を担う人材の育成	検討					環境政策課 地域づくり推進課
“光”版環境学習帳の作成	検討					環境政策課
地域での環境教育の促進、支援						環境政策課 関係各課